

Q 4 保健室等登校をしている同級生のことをやや批判的にみている他の児童生徒に対し、どのように説明するといいいでしょうか。

現 状

- 1 不登校や保健室等登校の児童生徒の心情を理解できない場合がある。
- 2 保健室等での生活は、学習時間が少なく自由に過ごしているように見え、うらやましく思うことがある。
- 3 保健室等での様子が楽しそうで、教室での学習ができないようには思えない。本人の甘えが強いのではないかと思うことがある。



- 4 自分の好きな教科や行事のときだけ参加するのは、ずるいと思っている場合がある。

考えられる対応策

- 1 不登校や保健室等登校の児童生徒は、ストレスを強く感じやすいため、学校へ登校したい、教室に行きたいという意欲はありながらも、腹痛、頭痛などが生じてそれができない状態が続いていることを説明する。
- 2 学校へ登校することもままならない状態であるため、徐々に学校生活に慣れるよう、計画的に活動させていることを説明する。また、保健室等登校児童生徒は、基本的には学習が遅れることに不安をもち、早く教室で学習したいという思いがあることを説明する。
- 3 保健室等登校児童生徒は、勇気を振り絞って登校しており、自分の居場所として保健室等を確保できた場合が多い。また、先生や友達に元気のない姿をあえて見せまいとして、精一杯明るい表情をつくっている場合もある。保健室等で楽しそうに過ごしているのは甘えではなく、ようやく学校の中で自分らしさを発揮できる場所が見付かった状態であること、教室へ復帰するためのエネルギーを蓄えている段階であることを説明する。
- 4 保健室等登校児童生徒は、教室で友達と一緒に学習できるようになるため、徐々に活動の幅を広げている。そのため、いくつかの教科の学習や学校行事に参加し、友達と活動することに慣れるようにしている。しかし、急にすべての教科や行事等に参加できないので、教室での学習には時間がかかることなどを説明する。